

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 梶山広美
 編集人 山田 真

No.414 目次

- ◆平成28・29年度 役員 推薦委員 (2)
- ◆平成28年度検査説明・相談ができる
臨床検査技師育成講習会 (2)
- ◆第39回愛臨技スポーツ大会
開催のお知らせ (3)
- ◆地区だより (4)
- ◆会誌「らぼ」一般投稿論文の募集 (5)
- ◆第17回 西三河がんフォーラム (5)
- ◆基礎講座・研究会 (6)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
通信 (第43回) (8)

平成28年度渉外部門活動について

渉外部門担当副会長 中根 生弥

このたび、公益社団法人愛知県臨床検査技師会における渉外部門担当副会長として、6月の定時総会にて任命されました豊田厚生病院の中根生弥でございます。3年ぶりの技師会役員として本会の目的である、「臨床検査技師及び衛生検査技師の学術・技能の向上を図り、その職能を通じて広く愛知県民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与すること」を目指す所存です。

渉外部門は以前より、事業を実現実行するための組織として、組織部および広報部で構成されており、事業を推進するための健康啓発委員会、ホームページ運営委員会を設置しています。組織部の主な活動は、会員相互の交流であり、地区活動やボランティア活動の企画を行なっています。また健康啓発委員会は県民の健康増進と衛生思想に関する普及啓発であり、関連するイベントへの協力、HIV抗体検査ボランティア、全国検査と健康展の開催等を行なっています。広報部は、「会報らぼニュース」と「会誌らぼ」の発刊およびホームページの運用を中心に、学術研究班が管轄するホームページの管理を行いつつ、有益な学術情報をタイムリーに伝えることに専念しています。

本年は役員改選もあり、前任理事からの事業企画を遂行しつつ、過去を踏襲し新たな企画実現に向けた準備を進める年と考えています。具体的には、愛臨技組織における部門間連携の再構築（学術研究班と地区活動）と臨床検査を広く県民に認識していただく活動（ボランティア・健康展など）に取り組みます。次に改正臨床検査技師法による業務拡大が実感できる新規企画（採血・体表からの検体採取に特化した研修会）や人材育成（復職者へのスキル支援、遠隔地への多次元通信セミナーなど）に関する研修会は、愛知県技師長協議会との連携を図り進めます。また、産官学の連結（大学・学生・賛助会員と連結した学術および育成セミナーの開催）により、臨床検査業界全体の連携を密にすることで、地域社会はもとより、中小規模施設で勤務する臨床検査技師の皆さんへ有益な検査情報を伝え、他県では行っていない新しい企画を開催し、全国を牽引できる愛臨技に挑戦すべく準備を進めたいと考えています。

平成28・29年度 役員 推薦委員

平成28・29年度 役員推薦委員が7月理事会で承認されましたので報告します。

尾張西地区	伊藤 肇	厚生連稲沢厚生病院
尾張北地区	服部 英里	名古屋市立西部医療センター
尾張東地区	柳井 早苗	旭労災病院
尾張南地区	藤原 宗孝	名古屋記念病院
知 多地区	粕谷 法仁	厚生連知多更生病院
西三河地区	迫 欣二	厚生連豊田厚生病院
東三河地区	神谷 光宏	豊橋市民病院

告 知

平成28年度 検査説明・相談ができる 臨床検査技師育成講習会

本年度で3年目となる標記の講習会を下記の要領で開催することになりました。事業計画では8月開催予定でしたが、11月に延期になりましたことを深くお詫び申し上げます。

この研修は、平成19年に「医師及び医療関係職と事務職員等の間等での役割分担の推進について」という厚労省医政局長通知が出され、その中で採血・検査の説明に臨床検査技師が十分に関わっていないとの指摘から日臨技で企画立案され、各都道府県技師会で開催されています。土曜、日曜を2日間使った講習会ですが、一昨年、昨年の2回の開催で計200名近くの受講者があり、「参加して良かった」などの感想が多く寄せられました。チーム医療の中の臨床検査技師をアピールし、患者様に対して検査に関する説明、相談のスキルを獲得できる絶好の機会です。また、接遇や患者心理、臨床検査値の見方・考え方等も研修カリキュラムに入っていますので、生涯教育の一環としても参加されてもいいかと存じます。

参加方法及び詳細は、愛臨技HPにて近日掲載致します。

開催日時：平成28年11月5日(土)、6日(日)
9:00～17:00

開催場所：株式会社カーク 5F会議室
名古屋市中区丸の内3-8-5

受講料：10,000円

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

2016年8月10日現在 正会員数 3,150名

※求人情報、理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

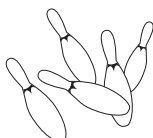
第39回愛臨技スポーツ大会開催のお知らせ

組織部

今年度もスポーツ大会（ボウリング大会）を開催いたします。大会は例年通り地区チーム、研究班チーム、賛助会員チームでの競技を考えております。チーム編成については下記を参照ください。

その後の懇親会もぜひご参加下さい。

★ボウリング大会

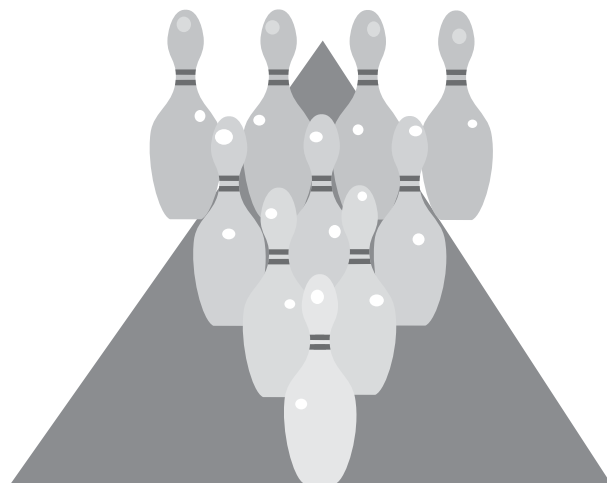


日 時：平成28年10月22日（土）
15：00～17：30（表彰式を含む）
場 所：スポーツ名古屋
〒460-0007 名古屋市中区栄2-45-26
電話：052-261-3111
参 加 費：1,000円（2ゲーム代・飲物代・靴代・賞品代含む）
チーム編成：各地区、学術部研究班、賛助会員各5名以上（女性2名以上を含む）
参加申込方法：ホームページからダウンロードまたは施設に配布しました参加申し込み票に記載の上、施設連絡者を通じて各地区理事へお申込みください。学術部については各班長が取りまとめください。
締 切 日：平成28年10月7日（金）
大会要綱：ゲーム数は1名2ゲーム
＜団体戦＞各地区、学術部研究班、賛助会員上位5名（男性3名・女性2名）の合計点数
＜個人戦＞2ゲームの合計点数（男女別）
賞 品：団体戦 上位3チーム
個人戦 男女各上位3名・飛び賞・ブービー賞 など

★懇親会

日 時：平成28年10月22日（土）
18：00～19：30まで
場 所：サッポロビール名古屋ビール園
浩養園 2階
〒464-0858 名古屋市中区千種2-24-10
電話：052-741-0211
参 加 費：4,000円（今回はバーベキューコースです）
参加申込方法：ボウリング大会同様
締 切 日：ボウリング大会同様
*懇親会のための参加もOKです。ぜひご参加ください。

問い合わせ先：愛臨技 組織部 牛田展浩
だいどうクリニック 健診センター
電話：052-611-8680
FAX：052-611-8683
E-mail：n-ushida@daidohp.or.jp



あいち小児保健医療総合センター

中央検査部臨床検査室 前田 孝子

救急科・集中治療科

あいち小児保健医療総合センターでは、平成28年2月1日に救急棟がオープンしました。東海3県(愛知・岐阜・三重)で初の「小児救急センター」(三次救急)として、救急科5名と集中治療科5名あわせて10名の専従医を軸に体制を整えました。重症の場合、救急搬送には危険が多く伴うため、他の施設から転院依頼があった時、24時間体制で専門医や看護師を派遣し、必要な処置を行いつつ救急車やヘリコプターなどで搬送します。

集中治療科では、中部地区最大の小児ICU16床を活用し、濃密な看護体制や生命維持装置などで集学的治療を行います。今後は、感染症大流行の際のセーフティーネットも構築していく予定です。

救急外来

救急外来と一般外来との大きな違いとして、予約や受け付け順ではなく、まずは看護師が緊急度・重症度を判断し、より早期に対応が必要な患者を医師の診察に繋げることで、待機中の状態の重篤化や急変を防ぐことを目的として院内トリアージを実施させていただいています。

小児ICU

小児ICUは、オープンスペースに従来のICUとしてハイリスク手術の患者を収容し、個室スペースはプライバシーへの配慮やご家族の面会やお子様との時間を大切にすることが可能な環境に配慮しています。感染症専用の陰圧個室を充実し、安全な感染予防対策の実現を目指しています。小児ICU看護師は、集中治療科・救急科医師や臨床工学技師・理学療法士・薬剤師などと協力し、他施設から転院される重症患者や緊急入院される患者・家族の方々に安心して治療やケアを受けていただけるようチーム医療を推進しています。



中央検査部臨床検査室

検体検査部門に10名、生理検査部門に4名のスタッフが配置されています。輸血業務は、検体検査部門のスタッフが実施しています。平成28年2月1日の救急棟オープンと同時に電子カルテ化されました。

診療内容

病床数：6病棟、200床

診療科目：小児科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、内分泌内科、心療内科、感染症内科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、小児歯科、矯正歯科、歯科口腔外科

会誌「らぼ」一般投稿論文の募集

会誌「らぼ」の発行は毎年6月1日を予定しています。次の要領で一般投稿論文の原稿を募集します。

1. 未発表の学術研究論文

- ・投稿規程は（一社）日本臨床衛生検査技師会発行の「医学検査」に準ずる。

2. 締め切り

- ・平成28年12月16日（金）
査読終了後、理事会承認を経て掲載となります。

3. 送付方法

- ・送付内容は、原稿をCDに入力し、CDと印刷したものを提出してください。
尚CDには施設名、氏名を明記してください。
- ・送付先は封筒に「会誌らぼ 研究論文原稿在中」と明記し、愛臨技事務所宛に送付してください。
公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
〒450-0002
名古屋市中村区名駅五丁目16番17号 花車ビル南館1階
Tel (052) 581-1013 Fax (052) 586-5680
Mail aamt@aichi-amt.or.jp

なお、会員業績（出版物・論文発表・学会発表）につきましては来年2月のらぼニュースで募集します。

愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内 第17回 西三河がんフォーラム

基礎教科：20点

日時：平成28年10月13日（木）18：30～20：00

場所：安城更生病院 2階 講堂

テーマ：『転移性脳腫瘍における放射線治療の役割』

講師：小牧市民病院 脳神経外科

長谷川俊典 先生

司会：安城更生病院 脳神経外科代表部長

加野 貴久 先生

参加費：無料

内容：当院は地域がん診療連携拠点病院として、手術療法、化学療法、そして放射線治療に積極的に取り組んでいます。ライナック装置を用いた放射線治療は年間7,000件を超えており、そのうちの700件弱は頭部の治療です。

そこで今回は、小牧市民病院 脳神経外科の長谷川俊典先生に「転移性脳腫瘍における放射線治療の役割」と題し講演をいただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に放射線治療についての知識を学びたいと思います。



(認定一般検査技師指定講習会 申請中)

基礎講座

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年11月13日(日) 9:30～16:30

場所：名古屋大学医学部基礎棟3F 第一講義室

テーマ：基礎を学ぼう尿沈渣!!

初心者歓迎!!

日当直に役立つ尿沈渣の基礎－実践編－

《午前》

I. 講演

1) 心腎関連

－尿中アルブミン測定的重要性を含めて－

平光ハートクリニック院長 平光 伸也

2) 尿沈渣スライドカンファレンス

公立西知多総合病院 臨床検査科 加藤 節子

司 会

1) 藤田保健衛生大学 医療科学部 星 雅人

2) 公立西知多総合病院 臨床検査科 服部 聡

《午後》

II. 尿沈渣鏡検実習

III. グループディスカッション

申込方法：下記の申込事項①～⑩について、Eメールでお申込みください。

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③郵便番号 ④施設住所 ⑤施設名 ⑥所属 ⑦連絡先(内線) ⑧一般検査経験年数 ⑨認定一般検査技師資格の有無 ⑩昼食の有無(別途1000円)

申 込 先：E-mail ippannaichi@yahoo.co.jp

連 絡 先：名古屋市立大学病院

中央臨床検査部 阿部 臨

〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

TEL：052-851-5511

(連絡はPM 4時以降にお願いします)

定 員：60名

参 加 費：3000円(当日徴収)

※県外会員：3500円

申込期間：平成28年9月1日(木)～10月31日(月)

申込み受領及び日程の詳細についてはEメールでご連絡します。

※11月4日までに受領メールが届かなかった場合は、上記連絡先まで必ずご連絡ください。

研 究 会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年10月1日(土) 15:30～18:00

場 所：リップルスクエア(シスメックス株式会社名古屋支店)アーバンネット名古屋ビル20F

テ ー マ：ケースカンファレンスで学ぶ蚊媒介感染症－海外渡航者の発熱に対応する－

講 師：1. 症例検討

名古屋第二赤十字病院 原 祐樹

2. 海外渡航後の発熱時の鑑別疾患

愛知医科大学病院 宮崎 成美

3. 保健所との対応

岡崎市保健所 中根 邦彦

4. 蚊媒介感染症とその予防

豊田厚生病院 永田 悠起

司 会：刈谷豊田総合病院 蔵前 仁

内 容：デング熱の国内感染や流行地におけるオリンピック等、蚊媒介感染症は国境を越えて身近なものになっています。本研究会では参加者の皆さんと症例検討を行いながら、蚊媒介感染症の病態や病原体からその対応まで幅広く学んでいただきたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

研 究 会

一般検査研究班

専門教科：20点

日時：平成28年10月8日(土) 15:30～17:30

場 所：リップルスクエア(シスメックス株式会社名古屋支店)

アーバンネット名古屋ビル20F、久屋大通駅出口3Bより徒歩1分

テ ー マ：寄生虫検査の現状とトピックス

講 師：①愛知県における寄生虫検査の現状

～2014年度アンケート調査より～

医療法人青山病院 平田 基裕

②寄生虫検査～糞便検査の手引き～

(AiCCLSリーフレット)

名古屋第二赤十字病院 安土みゆき

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第43回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、「輸血検査における標準手順書 第2版」についてご紹介いたします。

医療機関にとって、医療事故を防止する安全対策は、ますます重要となっています。輸血療法は、輸血過誤を未然に防ぐために輸血検査の安全性と質の向上が必要です。そのため、第1版から質の向上を目的として、第2版のガイドラインを作成しました、是非ご活用ください。今回は“交差適合試験”を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）

V 交差適合試験

1. 交差適合試験

